

民主党 新首相誕生

問われてい るのは

菅直人氏が新首相に指名されましたが…

アメリカ・財界へどうい う態度をとれるかです

首相を変えただけ ですむ問題ではあ りません

鳩山前政権は、暮らしの面でも、平和の問題でもあらゆる面で国民への公約や期待を裏切り続けてきました。

その根底にはアメリカ・財界にモノが言えず、いわゆるままといい政治があります。

普天間基地は「最低でも県外」といいながら、アメリカにモノが言えず、結局、名護市辺野古沖に新基地を押しつけようとしています。

後期高齢者医療制度は社会保障予算の削減を求める財界の圧力で撤廃の公約を投げ捨てています。

政府の派遣法の「改正」案は使い捨て労働の温存を求める財界の要求に従って「抜け穴」だらけです。

アメリカ・財界にモノ が言えない政治に 未来はありません

菅首相が誕生しましたが、菅氏は鳩山政権を支えてきた中心人物。アメリカ・財界に国民の立場でモノを言う立場には立ってきませんでした。

菅首相は消費税増税については、これまで「本格的な議論を」と発言。消費税増税は財界が強く要求してきたものです。

日本共産党を伸ばして 政治の根本からの転換を

アメリカ・財界に堂々とモノが言える政治に

日本共産党はアメリカに対しては「普天間基地は無条件撤去しかない」と伝え、財界にも「雇用は正社員に」と要請してきました。アメリカにも財界にも、国民の立場で堂々とモノをいい、国民を決して裏切らない政党が日本共産党です。

伊藤 岳



党国会議員団埼玉県事務所長
【参議院埼玉選挙区予定候補】

新埼玉

2010年6月号外 発行・日本共産党埼玉県委員会（日本共産党埼玉県委員会の見解を紹介します）
さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 TEL.048-658-5551 FAX.048-658-5656